

インターネット  
利用者のための

経済産業省

**JNSA**

セキュリティ  
対策講座



これだけは知っておきたい!

# インターネット 安全教室

<http://www.net-anzen.go.jp/>



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry

**JNSA** NPO 日本ネットワークセキュリティ協会



## DVDビデオ

# 「これだけは知っておきたい! インターネット安全教室」

### ●ご利用方法

このDVDには、冊子の内容を映像で紹介する「ビデオ」が収録されています。

### ●この冊子およびDVDご利用にあたっての注意事項

著作権および関係するすべての権利は、経済産業省に帰属します。この冊子およびDVDに含まれる著作物の使用（閲覧・上映）を以下の条件で許可します。

### ●使用条件：

- 1) 情報セキュリティ啓発の目的での使用に限ります。
- 2) 営利目的でない使用に限ります。
- 3) 映像・音声については、改編を行わないでください。
- 4) 複製・配布に際しては、この注意事項をこのまま載せてください。

### ※ご注意

この冊子は、一般的な対策について記載しています。対策内容は状況によって異なる場合があります。

### 【保管上のご注意】

- 直射日光の当たる所、高温・多湿な場所での使用・保管は避けてください。
- 使用后、ディスクは必ずプレーヤーから取り出し、この冊子の所定の場所に入れて保管してください。
- この冊子の上に重いものを置いたりしないでください。
- パソコン等の一部の機種で再生できない場合があります。



DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。  
DVDビデオ対応のプレーヤーで再生してください。

# この冊子とDVDの内容

## DVD の内容

## 対応する本書のもくじ



チャプター1

4分  
17秒



### パソコンを買ったら

基本編 ① ウイルス対策…………… 4

### パソコンを買ったら

基本編 ② パスワードの設定…………… 6

### パソコンを買ったら

基本編 ③ その他の注意事項…………… 8



チャプター2

3分  
23秒



メールを楽しむ…………… 10



チャプター3

2分  
22秒



交流サイト(ソーシャルメディア)  
に参加する…………… 12



チャプター4

2分  
17秒



写真を交換する…………… 14



チャプター5

1分  
32秒



映像を見る…………… 16



チャプター6

3分  
50秒



ショッピングをする…………… 18



チャプター7

2分  
16秒



子どもに携帯電話を買う…………… 20



アーカイブ  
ムービー



アーカイブムービー…………… 22



CHAPTER 1

# パソコンを買ったら

## 基本編 ① ウイルス対策

A

### 「ウイルス対策ソフト」を必ず使いましょう。

あなたのパソコンがウイルスに感染すると様々な被害を受けることがあります。また、感染したパソコンは、あなたの知らない間に、勝手に他の人のパソコンへウイルスを送り、いつの間にかあなた自身を加害者にしてしまうこともあります。

- パソコンを買った時に入っている「ウイルス対策ソフト」は、ほとんどが期間限定のお試し版です。「ウイルス対策ソフト」は製品版を購入しましょう。
- 次々と登場する新しいウイルスに対応するため、「ウイルス対策ソフト」は、自動更新の設定にしておきましょう。



B

### パソコンのソフトは常に最新の状態にしましょう。

パソコンに入っているソフトの多くは、ウイルスに感染しないように、日々更新されています。

- 多くのソフトが、必要に応じて更新を促すメッセージを画面に表示します。更新の指示に従い、ソフトを常に最新の状態に保ちましょう。



あなたのパソコンは、インターネットを通して世界中のパソコンとつながっています。これは同時に、ウイルス感染や情報の流出など、様々な危険にさらされているということです。こうした危険から、あなたとあなたのパソコンを守るために、最低限必要なウイルス対策をご紹介します。



## 注意を促すメッセージが表示されたら無視しないようにしましょう。

- 注意を促すメッセージが出てきたら、指示に従うようにしましょう。
- わからない場合は、メーカーや販売店のお客さま窓口などに相談する方法もあります。



## 「ウイルス対策ソフト」の機能

### ウイルス感染を監視する機能

あなたのパソコンがウイルスに感染しないよう監視する機能です。この機能は停止させないようにしましょう。注意を促すメッセージが表示されたら、従うようにしましょう。

### ウイルス感染をスキャン(診断)する機能

あなたのパソコンがウイルスに感染していないか診断する機能です。定期的に自動スキャンするように設定しておきましょう。

### ウイルスを駆除する機能

あなたのパソコンが、万が一ウイルスに感染してしまった場合に、駆除する機能です。ウイルスに感染してしまったら、速やかにネットワークケーブルを外すなどして、インターネットから切り離しましょう。その後、「ウイルス対策ソフト」を使ってウイルスを駆除しましょう。



# パソコンを買ったら

## 基本編 ② パスワードの設定

A

### パソコンには必ずパスワードを設定しましょう。

パソコンを買ったら、パソコンを起動する時のパスワードを設定しましょう。(パスワードを設定していないと、他の人が簡単にあなたのパソコンを操作したり、大切なデータを持ち出してしまう危険性があります)



- 買ったばかりのパソコンを起動した時に登録した使用者は、「管理者(パソコンの管理者)」となり、パソコンのすべての設定やパスワードの変更ができます。
- 1台のパソコンを家族などで共有する場合は、「管理者」を特定の使用者に限定しましょう。「管理者」が複数いると、管理しにくくなります。
- 「管理者」とは別に、パソコンの使用者は個別にIDとパスワードを設定することができます。

B

### 大切なデータにはパスワードを設定しましょう。

誤って他の人にメールを送ってしまったり、CDやDVDを紛失してしまったりすると、大切なデータが他の人の手に渡る危険性があります。大切なデータには、パスワードを設定しましょう。

- ソフトによっては、作成した書類などを保存する際に、パスワードを設定できるものがあります。こうしたソフトの機能を使用し、パスワードを設定しましょう。





データ（書類・ファイルなど）を簡単にコピーしたり、メールで送ったりできるのは、パソコンやインターネットの便利な特徴の一つです。しかし、あなたのパソコンが他の人に使用されたり、他のパソコンから不正に侵入されたりすれば、あなたの大切なデータは簡単に持ち出されてしまう危険性があります。必ずパスワードを設定しましょう。



## 「無線LAN」にはパスワードを設定しましょう。

「無線LAN」はとても便利ですが、パスワードの設定をしていないと、不特定多数のパソコンやゲーム機が簡単につながってしまいます。同じ



「無線LAN」につながっているパソコンやゲーム機などは、データを持ち出されたり、ウイルスを送られたりしてしまう可能性があるため非常に危険です。

- 発信源がわからずパスワードも設定されていない、自由に使用できる「無線LAN」を、むやみに使うのはやめましょう。

## ID・パスワードの管理方法

パスワードはパソコンの設定だけでなく、ホームページを見たりネットショッピングなど様々なところで使われています。パスワードを設定しても、簡単に推測されてしまえば効果がありません。ID・パスワードは、下記に注意して設定・管理しましょう。

- IDと同じパスワードはやめましょう。
- あなたや、あなたに関係する人の名前、住所、電話番号、誕生日など、他の人が推測しやすいパスワードはやめましょう。
- 同じ文字種の単純な組合せ（数字のみ、英大文字のみ、英小文字のみ）ではなく、数字や記号、英大文字、英小文字などを複雑に組合せましょう。
- 長いパスワード（できれば8文字以上）にしましょう。
- 同じパスワードを使い回すのはやめましょう。
- できるだけ定期的（できれば3ヶ月に1回以上）にパスワードを変更しましょう。
- パスワードを盗まれた恐れがある場合や、不審に思うことがある場合は、パスワードをすぐに変更しましょう。



CHAPTER 1

# パソコンを買ったら

## 基本編 ③ その他の注意事項

A

### USBメモリーを使ったデータのやりとりに気をつけましょう。

ウイルスは、様々な方法であなたのパソコンへ侵入しようとしています。データを手軽にやりとりできるUSBメモリーや外付ハードディスクにも



注意しましょう。

- 不審なUSBメモリーや外付ハードディスクはパソコンに接続しないようにしましょう。
- USBメモリーや外付ハードディスクを接続したら、「ウイルス対策ソフト」でスキャン（診断）するよう心がけましょう。

B

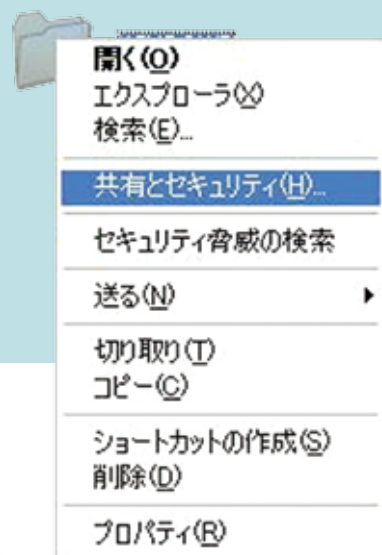
### パソコンを廃棄する時は、データを消去しましょう。

使わなくなったパソコンや記憶媒体（ハードディスク、CD、DVD、USBメモリーなど）を廃棄する時には、データを完全に消去しましょう。

- 「データ消去ソフト」で、データを完全に消去しましょう。
- パソコンのデータはハードディスクに保存されています。「データ消去ツール」が使用できない場合は、ハードディスクや記憶媒体そのものを破壊しましょう。







## C

### 「フォルダ共有」は、 利用する時だけONにしましょう。

「フォルダ共有」は、ネットワークでつながれたパソコン同士が、データをやりとりする時に使用します。「フォルダ共有」はウイルスを送ることなどもできるため非常に危険です。

- 「フォルダ共有」は、必要なフォルダのみONにしましょう。
- 「フォルダ共有」を利用した後は、すぐにOFFにしましょう。ONにしたまま、不特定多数のパソコンが接続しているネットワークにつなぐと危険です。(無線LANを利用している時は特に危険です)

## D

### 不特定多数の人が利用するパソコンに注意しましょう。

インターネットカフェや駅などに設置されているパソコンは、不特定多数の人が利用するため、個人情報や大切なデータの扱いに注意しましょう。ブラウザ(ホームページを閲覧するためのソフト)には、パスワードなどを記憶する機能や、あなたが見たホームページなどの履歴を自動的に保存する機能があるため、特に注意が必要です。

- IDやパスワード、クレジットカード番号や暗証番号など、特に重要な個人情報の入力は控えるようにしましょう。
- データをゴミ箱に移動して捨てた時は、「ゴミ箱を空にする」を選択して削除しましょう。
- ブラウザを利用した時は、「閲覧の履歴の削除」を選択して、一時ファイルなどを削除しましょう。





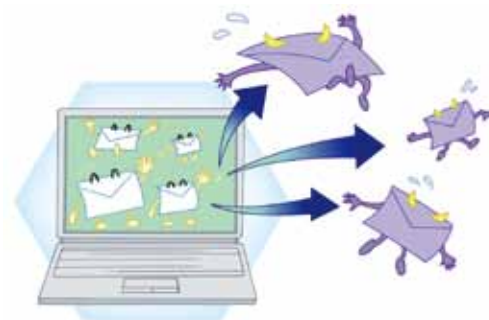
## CHAPTER 2

# メールを楽しむ

## A

### 知らない人からのメールには気をつけましょう。

個人情報聞き出そうとしたり、不審なホームページに誘導しようとしたら、メールは様々な手口に悪用されています。差出人に心当たりのないメールは、ほぼ間違いなく悪意のある迷惑メールです。

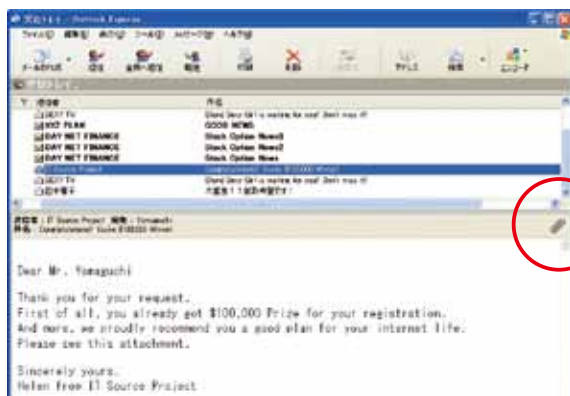


- 迷惑メールは無視しましょう。「配信停止はこちらまで」とあっても返信せず、無視しましょう。
- クレジットカード会社や学校、有名企業などになりすましていると疑われるメールについては、その企業や学校などに直接問合せをしましょう。問合せをする時は、メールに記載されている連絡先ではなく、その企業や学校の連絡先を調べて直接問合せましょう。

## B

### すぐに添付ファイルを開かないように気をつけましょう。

迷惑メールについている添付ファイルをうっかり開いてしまうと、ウイルスに感染することがありますので注意が必要です。



- 迷惑メールの添付ファイルは絶対に開かず、無視しましょう。
- 友人から届いたメールでも、心当たりのない添付ファイルがついていることがあります。友人に問合せ、添付ファイルを送ったかどうか確かめましょう。
- 万が一、添付ファイルを開いてしまった時は、直ちに「ウイルス対策ソフト」でパソコンをスキャン（診断）しましょう。もしウイルスに感染しても、ほとんどの場合「ウイルス対策ソフト」で駆除できます。

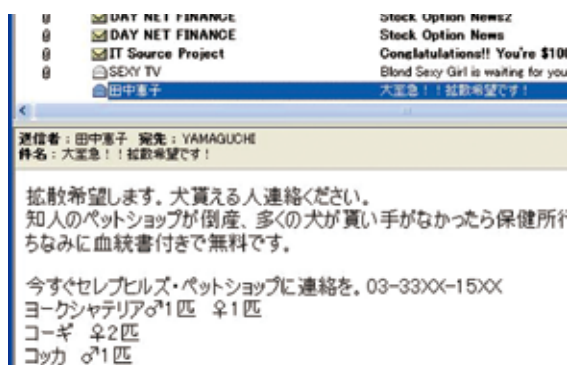
パソコンを始めたきっかけは、友人とのメールを楽しむため、という方も多いのではないのでしょうか？ 今や電話と並んで生活に欠かせなくなりつつあるメール。でも、思わぬ落とし穴が仕掛けられていることもあります。



## チェーンメールを他の人にまわさないように注意しましょう。

友人や会社の同僚などから、善意を募ったり、噂話を吹聴するような内容のメールが送られてくることがあります。このようなメールの中で、さらに多くの人にメールを送るよう促されているものは、チェーンメールの可能性ががあります。チェーンメールを友人や会社の同僚に送ってしまうと、関係が壊れることにもなりかねません。

- チェーンメールの疑いがある時は、少し様子を見て内容を冷静に判断しましょう。



### 迷惑メールを判別してくれる「フィルター機能」

迷惑メールを判別し、別のフォルダやゴミ箱に、自動的に移動してくれる機能が「フィルター機能」です。「フィルター機能」を使うと、多くの迷惑メールを自動的に移動、もしくは削除できます。

以下のいずれかの「フィルター機能」を使用するようにしましょう。

- ・メールソフトに付属している「フィルター機能」
- ・「フィルター機能」専用のソフト
- ・インターネットサービスプロバイダが提供している「フィルター機能」



### CHAPTER 3

## 交流サイト(ソーシャルメディア)に参加する

A

### 個人情報を書き込みすぎないようにしましょう。

多くの交流サイトはプロフィールなどの個人情報を登録できるようになっています。また、日記やコメントなどを書き込むうちに、徐々に個人情報が明かされてしまうこともありますので、悪用されないよう注意しましょう。

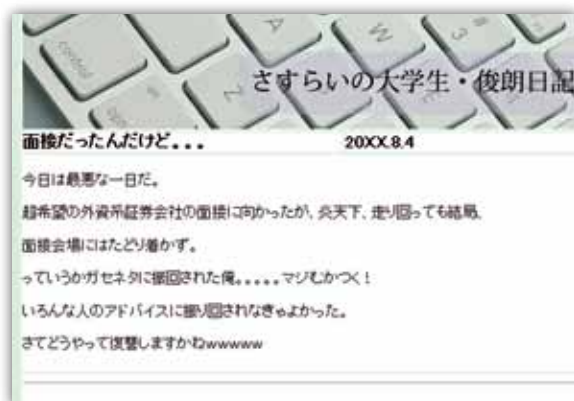
- 多くの交流サイトは、プロフィールや日記などを公開する範囲を設定できます。不特定多数の人にむやみに公開しないようにしましょう。ブログのように基本的に不特定多数の人に公開される交流サイトでは、書き込む内容に細心の注意が必要です。



B

### 書き方のルールとマナーを心得ましょう。

交流サイトの日記や掲示板などでは、法律に抵触したり、ルールやマナーに反する書き込みは厳禁です。十分注意しましょう。



- 他の人を誹謗中傷したり、他の人の個人情報や写真を本人の許可なく公開してはいけません。名誉棄損、プライバシーや肖像権の侵害に注意しましょう。
- わいせつな画像を掲載するなどの公序良俗に反する行為や、法律に違反する行為は絶対にやめましょう。
- 他の人がつくった文章や写真、イラスト、音楽などを無断で掲載してはいけません。著作権侵害に注意しましょう。

新しい友人をつくったり、旧交を温めたり、情報交換したりと、便利な交流サイト。急速に利用者が増え続け、社会現象ともいえるほどの盛り上がりを見せています。でも、同時に新たな問題も引き起こしています。



## 交流している相手を見極めましょう。

交流サイトで公開されている個人情報や、日記、メッセージなどは、本人が自由に書き込んだものですから、必ずしも事実とは限りません。そこには様々な落とし穴が仕掛けられていることがあります。

- 交流している相手の書き込みを鵜呑みにせず、冷静に判断しましょう。
- 犯罪に巻き込まれないよう、甘い誘惑には注意しましょう。
- 子どもがゲームなどの交流サイトを利用している場合、嘘の書き込みを見抜けず、トラブルに巻き込まれることがあるので注意しましょう。



### 「短縮URL (ホームページアドレス)」に注意しましょう

メッセージの文字数に制約がある交流サイトなどでは、ホームページアドレスを短く記載している場合があります。中には不審なホームページに誘導するものもあるので気をつけましょう。





## CHAPTER 4

# 写真を交換する

A

## 撮った写真のデータを手渡しする時は？

あなたが撮影した写真を、CDやDVD、USBメモリーなどにコピーして手渡す時は、紛失などに備え、パスワードを設定しましょう。また、USBメモリーや外付ハードディスクそのものがウイルスに感染していることもあるので注意が必要です。

- USBメモリーや外付ハードディスクを使用する時は、予めウイルススキャン（診断）をしておきましょう。



B

## 撮った写真をインターネットで送る時は？

- 誤って別の人にメールを送ってしまった場合に備え、パスワードを設定しましょう。パスワードは写真を添付したメール内には記載せず、別のメールで送るか電話などで伝えるようにしましょう。
- 「ファイル転送サービス」を利用する場合は、パスワードが設定できるサービスを選び、あわせて写真のデータにもパスワードを設定しましょう。





デジタルカメラが普及して、写真を簡単にコピーしたり、メールで送ったり、手軽に扱えるようになりました。ただし、あなたが撮った写真にはプライバシーが含まれている場合があります。写真の管理には注意が必要です。



## 交流サイトで公開する時は？

あなたが撮影した写真であっても、交流サイトに写真を掲載する時は、法律やルール、マナーに反しないよう注意が必要です。

- 他の人が写っている写真を本人の許可なく公開してはいけません。本人が許可した場合でも公開する範囲に配慮しましょう。
- わいせつな画像を掲載するなどの公序良俗に反する行為や、法律に違反する行為は絶対にやめましょう。
- 著作権がある写真や映像は、部分的であっても著作権侵害になる場合があるので無断で公開してはいけません。



## 「画像保管サービス」「画像共有サービス」の注意点

インターネット上に画像を保管できる「画像保管サービス」や、複数の人で画像を共有できる「画像共有サービス」が増えています。これらのサービスは、大量の画像や写真を整理・保管・共有するのに大変便利です。ただし、個人情報（顔写真など）が流出しないように、パスワードの設定・管理方法やセキュリティ対策などを十分に検討してサービスを選び、利用しましょう。



## 映像を見る

A

### インターネット上の映像をダウンロードすると、法律違反になる場合があります。

インターネットで公開されている映像にはテレビ番組や市販のビデオを流しているものがありますが、それらには著作権があります。また、番組や



市販の映像でなくても著作権のあるものもあります。

- 著作権者の許可なく、あなたのパソコンにダウンロードして見ることは法律違反になることがあります。
- 著作権者の許可なく、DVDなどにコピーすることは、法律違反になることがあります。

B

### インターネットで公開されている映像から、ウイルスに感染することがあります。

映像などにウイルスが仕込まれていて、それに気づかずにダウンロードしてしまうことがあります。

- 本来有料であると思われる映像などが無料で公開されている場合には注意が必要です。
- ウイルス対策ソフトを必ず入れておきましょう。



パソコンやインターネットの発展に伴い、今や当たり前のようにきれいな映像が見られるようになりました。でも、知らぬ間に法律に違反していることがあります。



## 映像を公開すると法律違反になる場合もあります。

あなたが撮影した映像を、動画サイトや交流サイトで公開する場合にも、その内容が法律に抵触したり、ルールやマナーに反する可能性があります。注意が必要です。



- 他人を誹謗中傷したり、個人情報に関する映像、あるいは本人の許可のない映像を公開してはいけません。名誉棄損やプライバシーの侵害、肖像権の侵害に注意しましょう。
- わいせつな映像を掲載するなどの公序良俗に反する行為や、法律に違反する行為は絶対にやめましょう。
- 著作権がある写真や映像は、部分的であっても著作権侵害になる場合があります。

### その他の著作権にも注意しましょう

- ゲームなどのソフトにも著作権があります。ゲームの画面やパッケージなどをコピーして、動画サイトや交流サイトで公開するのは違法になる場合があります。
- 著作物の内容や題名を著作権者の許可なく変更してはいけません。アイドルの写真と自分の写真を合成することは、この権利を侵害します。



## ショッピングをする

A

### 怪しいお店に気をつけましょう。

ショッピングサイトの中には、悪質なサイトもあります。会社名、代表者名、所在地、電話番号など、会社の基本情報や取引条件などが正確に書かれていないサイトには、注意が必要です。

- 少しでも怪しいと感じたサイトではショッピングを控えましょう。
- トラブルに備え、取引条件や、注文を確認するメール、領収書などの取引を証明する書類は必ず保管しておきましょう。
- 万が一、トラブルに巻き込まれた場合には、消費生活センターや法律の専門家に相談しましょう。



B

### クレジットカードの管理に気をつけましょう。

インターネットショッピングでは、「フィッシング詐欺」にも注意が必要です。「フィッシング詐欺」とは、クレジットカード会社や有名なショッピングサイトなどを装ったメールを送りつけて、偽サイトに誘導しクレジットカード番号やID、パスワードなどの個人情報をだまし取る詐欺のことです。



- クレジットカード番号など、重要な個人情報を入力する時は、信頼のできるサイトであるか、セキュリティはしっかりしているかを確認しましょう。
- クレジットカード会社や有名なショッピングサイトになりすましていると疑われるメールについては、メールに記載されている連絡先ではなく、その企業の連絡先を調べて直接問合せましょう。
- クレジットカード会社から身に覚えのない請求通知が来た場合は、直ちにクレジットカード会社に連絡して確認しましょう。



パソコンや携帯電話で、世界中のモノやサービスを簡単に手に入れられるインターネットショッピング。でも、相手の顔が見えないショッピングには、危険がたくさん潜んでいます。



## むやみにメールマガジンなどに登録しないようにしましょう。



メールのリンクをクリックすると、突然怪しいサイトに誘導され、「登録が完了しました。ご利用料金をお支払いください」といった内容のメッセージが表示されてしまう、「ワンクリック詐欺」があります。画面を閉じて、また繰り返し表示されてしまうことが多く、たまらずお金を支払ってしまったり、登録解除のために個人情報を入力してしまったりすることで、さらに被害が拡大してしまいます。

- メールマガジン、アンケート、懸賞・プレゼントなどにメールアドレスを登録する時には、十分に注意しましょう。

## オークションの注意点

オークションサイトは取引を仲介するだけで、落札した後のやりとりは出品者と購入者との自己責任で行うことになるため、注意が必要です。

- 落札したら、取引をする前に、メールなどで相手の住所や連絡先を確認しましょう。
- 取引をする前に、配送中の事故や商品が破損した場合などの対応を話し合い、取り決めをしておきましょう。
- 銀行振込、現金書留、郵便為替での支払が一般的ですが、代金を支払ったのに商品が送られてこない、商品を送ったのに代金が支払われないといったトラブルもあるので注意しましょう。
- オークションの運営サイトには、売り主や商品に関する他の利用者からの評価や口コミが掲載されていることもありますので、参考にすると良いでしょう。





## 子どもに 携帯電話を買う

A

### 携帯電話を長時間使わないか心配。

携帯電話の利用を子どもに任せてしまうのは大変危険です。長時間の利用や深夜の利用は、子どもの生活に支障をきたしますので注意しましょう。

- 携帯電話の使い方について、親子でルールを決めましょう。
- 携帯電話のルールやマナーについて話し合い、きちんと教えましょう。
- 学校での携帯電話に関する決まりごとを確認しましょう。



B

### 知らないうちに高額請求されないか心配。

携帯サイト内で課金された利用料金は、通話料と共に携帯電話会社から一括で請求される仕組みとなっています。そのため、子どもが有料サイトとは気づかずに利用を繰り返したり、無料サイトの中にある有料アイテムを買っていても気づきにくいことがあり、問題となっています。「無料ゲーム」と謳うサイトは、基本的には無料で楽しめますが、課金すること

で、さらに楽しめるようになっているものがほとんどです。子どもがこうしたサイトを利用する時には、特に注意が必要です。

- 携帯を長時間利用したり、有料サイトを利用したりすると、請求料金が高額になることがあります。携帯電話会社のサイトや請求書で利用明細を確認しましょう。
- 携帯電話の支払プランには上限が設定できるものもありますので、携帯電話会社に相談しましょう。



子どもに携帯電話を持たせると、すぐに連絡が取れたり、居場所がわかったり、多くのメリットがあります。でも、同時に気をつけなくてはならないこともたくさんあります。



## 有害サイトを見ないか心配。

子どもを狙った有害サイトには様々なものがあります。例えば、18歳未満の人が出会い系サイトを利用することは、法律で禁止されています。また、プライバシーの侵害や、いじめが社会問題となっている「学校裏サイト」などの交流サイトにも注意が必要です。

- 携帯電話のフィルタリングサービスを積極的に利用しましょう。フィルタリングサービスは、無料で提供されています。詳しくは携帯電話会社に問合せましょう。
- なりすましサイトに注意しましょう。
- ワンクリックサイトに注意しましょう。

※スマートフォンを利用する時は、携帯電話会社のフィルタリングサービスだけでは不十分な場合がありますので、スマートフォン向けのフィルタリングソフトを併用するなどの対策が必要です。



### 『ケータイ使う前にチェック！ 安心安全なケータイの使い方教室』

<http://www.net-anzen.go.jp/study/keitai/>

携帯電話の安全な使い方を楽しく学べるクイズや、携帯電話にまつわるトラブルの疑似体験を通して、携帯電話利用のルールやマナー、セキュリティをインターネット上で学習できます。

「子どもと保護者のためのケータイチェックリスト」も公開していますので、子どもとルールを決める時の参考にしてください。



# アーカイブムービー

短いエピソードストーリーに簡単なアドバイスを添えた7つのミニムービーをDVDに収録しました。メニュー画面で、「アーカイブムービー」を選ぶと見ることができます。



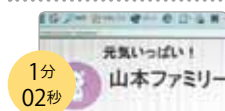
1分  
30秒

08【迷惑メール】～添付ファイルからウイルス感染～



1分  
09秒

09【無線LAN】～パスワードをかけておかないと～



1分  
02秒

10【著作権】～ホームページづくりでの注意～



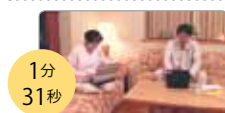
1分  
18秒

11【個人情報入力】～プレゼントに応募する時は～



1分  
16秒

12【フィルタリング】～子どもが陥りやすい携帯サイトのワナ～



1分  
31秒

13【ファイル共有フォルダ】～まちがって削除されないために～



1分  
24秒

14【ネットオークション】～取引条件の確認には念を入れて～

## MEMO

困った時のお役立ちページ集をJNSAホームページで案内しています。

<http://www.jnsa.org/link.html>



2012年11月1日 第2版

著 作 : 経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室  
〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1  
URL : <http://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/>

企画・制作 : 特定非営利活動法人 (NPO) 日本ネットワークセキュリティ協会  
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-22-12 JCビル 3F  
URL : <http://www.jnsa.org/>  
E-Mail : [caravan-sec@jnsa.org](mailto:caravan-sec@jnsa.org)